

## I 研修目標

### 一般目標 GIO

循環・呼吸管理、鎮痛を含めた全身管理の知識・技能を修得した上で、各種外科手術や検査に対応した適切な麻酔法を選択し、麻酔管理を担うことができる。

### 行動目標 SBO

- 1 患者の病歴を聴取し、麻酔をする上での問題点を評価し、診療録に記載できる。
- 2 適切な術前処置・投薬の指示や麻酔計画を立案し指導医に提示し意見交換する。
- 3 麻酔の手順やそれに伴うリスク・合併症について説明することができる。
- 4 以下の手技について①適応の判断、②手技の実施、③効果判定や合併症への対処を行うことができる。抹消静脈ラインの確保、侵襲的動脈圧ラインの確保、気管挿管
- 5 手術をするために関与する医療スタッフの役割と協力体制を理解する。

## II 研修方略

(6週間の研修期間)

- 1 上級医の資導のもと、毎日1～2名の麻酔患者に全身麻酔を行う。
- 2 担当麻酔症例の問題点と対策を把握し症例提示をする。
- 3カンファレンスで最新の英語文献を約10分間にまとめて発表する。

(3ヶ月の研修の場合追加される科目)

- 4 英語文献や英語教科書の抄読会に積極的に参加し、機会を見つけて全国学会で発表する。

## III 週間予定

|    | 月               | 火               | 水                       | 木               | 金               |
|----|-----------------|-----------------|-------------------------|-----------------|-----------------|
| 午前 | 症例検討            | 問題検討<br>症例検討    | レビューカン<br>ファレンス<br>症例検討 | 症例検討            | 症例検討            |
| 午後 | 手術麻酔<br>術前・術後回診 | 手術麻酔<br>術前・術後回診 | 手術麻酔<br>術前・術後回診         | 手術麻酔<br>術前・術後回診 | 手術麻酔<br>術前・術後回診 |
| 夕方 | 翌日の<br>麻酔計画立案   | 翌日の<br>麻酔計画立案   | 翌日の<br>麻酔計画立案           | 翌日の<br>麻酔計画立案   | 翌日の<br>麻酔計画立案   |

## IV 評価

### 研修中の評価（形成的評価）

研修医は、麻酔症例を担当するたびに上級医とともに症例検討を行う。

### 研修後の評価

#### （形成的評価）

研修終了後に EPOC に研修医が入力した自己評価をもとに上級医が評価を入力する。  
提出されたレポートは上級医が確認し、内容によっては不備な点を指導し再提出を求める。

#### （総括的評価）

麻酔科研修期間を担当した指導医により総合評価が行われる。

## V 指導医

研修責任者 川真田 樹人

指導医（\*指導医講習修了者）

\*川真田 樹人、雨宮 敬子、\*田中 聡、\*市野 隆、\*菱沼 典正、  
\*山本 克己、清水 彩里、\*井出 進、\*布施谷 仁志、\*坂本 明之、  
\*杉山 由紀、田中 稔幸、石田 公美子、石田 高志、平林 高暢、  
太田 恵理子、持留 真理子

上級医

村上 育子、塚原 嘉子、加藤 幹芳、今井 典子、安藤 晃、清澤 研吉、  
辻元 宜敏、関口 剛美、木内 千暁、鈴木 真衣子、丸山 友紀、新井 成明、  
村上 徹、松井 周平